

➤ 経済産業省では、2006年2月、社会が求める「学んだ知識を実践に活用するために必要な力」を『社会人基礎力』と名付け、「社会人基礎力に関する研究会」において、以下の内容に整理しました。

◆『社会人基礎力』の内容(3つの能力/12の要素)

前に踏み出す力(アクション)

～一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力～



主体性

物事に進んで取り組む力

働きかけ力

他人に働きかけ巻き込む力

実行力

目的を設定し確実に行動する力

考え抜く力(シンキング)

～疑問を持ち、考え抜く力～



課題発見力

現状を分析し目的や課題を明らかにする力

計画力

課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力

創造力

新しい価値を生み出す力

チームで働く力(チームワーク)

～多様な人々とともに、目標に向けて協力する力～



発信力

自分の意見をわかりやすく伝える力

傾聴力

相手の意見を丁寧に聴く力

柔軟性

意見の違いや立場の違いを理解する力

状況把握力

自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力

規律性

社会のルールや人との約束を守る力

ストレスコントロール力

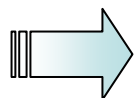
ストレスの発生源に対応する力

『社会人基礎力』～今、社会で求められる力～

➤『社会人基礎力』は、普段の生活の中でも身につけることができる能力です。日頃から『社会人基礎力』を意識して行動すれば、きっとあなたも社会で<いきいき>活躍できる人材に成長することができます。

◆『社会人基礎力』の具体的な育成・活用シーン

【社会人】 コーヒーチェーン店の例	【大学生】 ゼミでの活動の例
<ul style="list-style-type: none">○ 何度も来るお客様が、いつも同じコーヒーを注文することに気付いた。お客様を作るため、その人が来たら、例えば「今日もカフェ・モカですか？」と聞くようにすれば、更に来店頻度が高くなるのではないかと考えた。(課題発見力)○ このため、店員全員で、よく来る「お客様リスト」を作り、まずはしばらくその人の注文をチェックして、好きな商品を見つけ、それから声をかけ始めるという仕組みを考えた。(計画力)○ いざやることとなれば、自分の負担も重くなるが、職場の雰囲気改善にもなると思い、思い切って店長に自分の考えを提案した。(主体性)○ いやがるスタッフもいたが、問題意識のありそうなスタッフに個別に話しかけることを通じて、この取組に対する賛同者を増やした。(働きかけ力)○ この作業のプロジェクトリーダーとなったが、記録の付け方、お客様の見分け方など、できるだけ他のスタッフの提案を受け入れて参加意識を高めるようにした。(傾聴力、柔軟性)	<ul style="list-style-type: none">○ 最近企業を辞めて教授になった先生のゼミをとったところ、先生がもっと授業を面白くしたいと考えていることを知った。そこで、「ゼミを面白くする会」を立ち上げようと決心した。(主体性)○ 他のゼミ生にも呼びかけ、授業の改善に向けてどのように取り組むべきか、改善策について皆でアイデアを出し合うことに決めた。(働きかけ力、計画力)○ 話し合いで他のゼミ生と意見が衝突したが、反対意見についても丁寧に耳を傾け、「授業改善プラン」を取りまとめた。(柔軟性、ストレスコントロール力)○ ゼミの活性化のために、毎回テーマを決めて冒頭に一人ずつ発表することとしたが、ゼミの雰囲気を盛り上げるため、発表後の意見交換を提案した。(創造力)○ 発表会の実施にあたっては上手くいかない回もあったが、その都度改善のために工夫を凝らし、1年間継続してやり遂げた。(課題発見力、実行力)



自ら挑戦し経験を積むことによって、どんどん行動のレベルが高くなります。社会で活躍している先輩がどんなチャレンジをしているのか聞いてみるのも良い勉強になります。

【『社会人基礎力』に関するご意見はこちらまで】kisoryoku@meti.go.jp